

## 薬剤師の認定

薬剤部では、この数ヶ月間に認定取得者が増えました。日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)の外来がん治療認定薬剤師に土井薬剤師、日本糖尿病療養指導士に西原薬剤師、さらに澤津主任薬剤師が日本麻酔科学会の周術期管理チーム認定となりました。従来までの認定数を合わせると薬剤部で50件程の認定数になります。今回は、耳新しい2つの認定について、紹介します。

## 日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)外来がん治療認定薬剤師



認定の目的としては「外来がん治療を安全に施行するための知識・技能を習得し、地域がん医療において患者とその家族をトータルサポートできる薬剤師」(学会HPより抜粋)です。がんに関する新薬が増え、使用法(レジメン)の開発も著しい中では、重要な認定です。

## 日本麻酔科学会の周術期管理チーム認定

新しく登場した認定ですが、この認定の薬剤師関連の部分について、学会の文章を抜粋すると「高齢化する手術患者の総合的なリスクを決めるのは基礎疾患の有無であり、既往歴や内服歴、そして現在の治療内容について十分な評価と準備が必須となります。周術期医療の質を高めるためには、術前外来の機能を強化する必要があり、薬剤師、臨床工学技士、歯科衛生士など、複数の診療スタッフと、それをコーディネートするための十分に教育された看護師に活躍してもらわなければなりません。」と紹介されております。

薬剤部では、認定の取得に合わせて、仕事も充実させようと努力しております。その活動の中で、論文や発表、あるいはラジオ・TVへの出演、全国講演、学会シンポジストなど、様々な活躍することができております。

医師の先生方からのご支持とご支援、看護師さんたちとの協働などで院内業務の充実が、これらの活躍に繋がっておりますし、また院外では県庁、薬剤師会、メーカーなどからも大いに評価されております。

今後とも活躍を続けますので、よろしくお願い致します。

## 周術期患者管理チーム

East Surgical Support Team (ESST)



各職種専門性を発揮した質の高いチーム医療



院内限定  
医薬品の使用状況